

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和2年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- 令和元年度は、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）

## □ 事業内容

### 1 中央図書館地下1階左閲覧室一部レイアウト改修

- ・ 老朽化した閲覧室を国産木材の良さを活かしてリニューアルした。

【事業費】 29,403千円（うち譲与税29,403千円）

【実績】 空間のレイアウト・内装デザイン・什器整備等一式

### 2 図書館における閲覧机・椅子等の整備

- ・ 市立図書館に国産木材を利用した閲覧机・椅子・書架等を整備した。

【事業費】 41,081千円（うち譲与税41,081千円）

【実績】 中央図書館ほか12館 備品

### 3 図書による森林普及啓発事業

- ・ 森林・林業・木材産業等についての図書と電子書籍を購入した。

【事業費】 2,289千円（うち譲与税2,289千円）

【実績】 図書896冊、電子書籍等デジタルコンテンツ29点



## □ 事業スキーム

- 1 公募型プロポーザルによる特名随意契約
- 2 一般競争入札
- 3 特名随意契約

## □ 工夫・留意した点

- ・ 「大阪市立中央図書館施設活用構想」の基本的な方針である「Hon+α！（ほな！）」を整備コンセプトとし、国産木材の良さを活かした什器を設置することで、国産木材の普及啓発に努めるとともに、居心地のよい公共空間をつくった。
- ・ 木のスタンプをつくるワークショップを開催し、楽しみながら木の特性を学べるイベントを実施した。
- ・ 購入した図書には、森林環境譲与税を活用した旨を表示したラベルを貼り、「自然を知る 森を学ぶ」と題した図書展示を行った。

## □ 基礎データ

①令和2年度譲与額	232,924千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.00%
④人口（※3）	2,691,185人
⑤林業就業者数（※4）	62人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より